



## 特集 おれら ボランティア

### —金木高校市浦分校—

「大変だけれど“ありがとう助かるよ”と言われるのが何よりうれしいです。今後のはげみになります」と一人暮らしや高齢者世帯の除雪をする市浦分校生。

# ボランティアからはじめよう

最近、関心や期待が高まっているボランティア活動。個人でボランティア活動を行なっている方や、学校、保育園、婦人会等の団体で行なっている方など多くの方がボランティアに参加してきています。ここでは村内のボランティア活動状況をご紹介します。

## 金木高校市浦分校

代表 工藤 一臣

海岸清掃、高齢者世帯の除雪、悠遊郷での介護支援、アトム保育園での保育支援など行なっています。なお、市浦分校では数々の賞に輝いています。

- ・建設省東北地方建設局より海岸清掃で表彰状 (H 8・7・4)
- ・市浦村社会福祉協議会より除雪で感謝状 (H 13・2・23)
- ・青森県ふれあい活動功労者知事感謝状 (H 13・3・30)
- ・ボランティア活動及び地域交流で市浦村褒章 (H 13・11・3)
- ・全国海岸協会より海岸愛護で海岸功労表彰状 (H 14・5・22)

## 十三湊サポーターズガイド

代表 村元 宏 榎

村内の有志が集まって五年前に設立。市浦村の十三湊遺跡、安藤氏関連の史跡、遺跡をめぐる観光客のガイドを実施してい

ます。今後はPRを積極的に行なうべく、皆さんの観光客の方を案内したいと思っています。予約なしの観光客に対する対応ができないのが問題点です。

## 愛留美(アルミ)の会

代表 黒川 泰子

アルミ缶やプルタブを収集し、収益金で社会福祉協議会や、すわんの里に車椅子を寄贈しています。いままでも三台寄贈しました。

## 相内婦人会

代表 三和 イツ

交代で悠遊郷を訪問し、デイサービスの介護支援などしています。

## アトム保育園

代表 長利 友子

アルミ缶やプルタブの収集で得た収益金を社会福祉協議会に寄付しています。

## 日赤市浦分団

《相内・十三湊元・磯松》

代表 小田 桐 恭一

村内、宮の境内等の草取り、花壇作り、草取りなど定期的に行なっています。その他敬老会でのアトラクションなども活動の一つです。

## 役場ボランティアの会

代表 成田 義正

役場職員で結成しています。通夜等、要請があれば受けています。その他、道路清掃など活動は多岐にわたっています。

## オセドウ森林公園の会

代表 秋田 谷 勇男

オセドウ境内や、山王坊境内の草刈りを中心に活動しています。

## だれでもできるボランティア

日常生活の延長でできることや特別な技術を必要としないこと。週に一度、必要な時、イベントや葬式の手伝いなどさまざま

まあります。子ども、学生、社会人、高齢者、障害のある方、どなたでも参加できます。

## 「チヨボラ」ってしていますか？

ちよつとボランティアを縮めて「チヨボラ」です。まずはチヨボラからはじめてみませんか？ 今後、増えると思われる高齢



交代できています。とてもたのしいです。

悠遊郷でのボランティア三和さちさん(右)・糸合巨子さん(左)



冬場は白鳥のえさを切っています。

十三湊サポーターズガイドのみなさん

者、核家族。それにつれてさまざまな要望が増えると思います。行政、企業では全ての要望に答えることが難しくなっています。こんな時だからこそボランティアへの期待が高まっています。

あなたもできることから始めてみませんか？



台風のかたづけをする役場ボランティアの会



夏場は村内の草取りをしています。困っている火を助けるのが奉仕団の仕事です。

斉藤恵美子さん(左)・小山あぐりさん(右)

# 未来のエネルギー バイオマス

いま、地球にやさしい新エネルギーの一つとして「バイオマス」が注目されています。このバイオマスを有効に活用していくための取り組みが、市浦村で

進められています。その一環として市浦村バイオマス戦略講演会が二月十九日コミュニティセンターで開催されました。講師は東京大学教授の迫田章義氏です。迫田氏は、バイオマス・ニッポン総合戦略策定アドバイザグループ委員としてバイオマスを精力的に研究されている方です。その講演の概要をご紹介します。

## バイオマスとは？

現在は、エネルギーとして利用できるまとまった量の「生物資源」をさすことばとして定着しています。バイオマスは私たちの身近な場所に広く存在しています。

## なぜいまバイオマスなのか？

バイオマスは、植物が光合成によって作り出す有機性資源です。石油や、石炭などの資源には限りがありますが、バイオマ

スは太陽と水と植物があるかぎり、持続的に再生できる資源です。

地球温暖化や、廃棄物等の環境問題が深刻化する中、環境に負荷の少ないバイオマスを有効に活用していくことが強く求められています。これまで、バイオマスをエネルギーや製品として活用するためには、広く存在しているバイオマスを集めるのが大変でした。

## どんなふうにご利用されているの？

生ゴミや、家畜排泄物などを醗酵させメタンガスを作り、燃料として、発電や、熱利用を行うことができます。

てんぷら油などの廃油を、化学処理を行うことによって、バイオディーゼル燃料をつくり、自動車の燃料などに利用できます。ガソリン燃料に比べるとすが少ないといわれています。

植物のたんぱく質や糖を原料にしてバイオプラスチックをつくることが出来ます。バイオプラスチックはカードやゴミ収集袋などさまざまな用途に利用され

ておりリサイクルにより再利用することが可能です。ゴミになっても堆肥化の過程で二酸化炭素と水に分解され、自然にかえります。また、焼却するときに

もダイオキシンなどの有害物質などが排出されません。

## 「循環型社会」をめざす

このように、バイオマスを活用することは、廃棄物を減らし限りある資源を有効に活用する循環型社会につながります。

また、バイオマスを燃焼させるときに発生する二酸化炭素は、植物の成長過程で光合成によって大気から吸収した二酸化炭素であるため、持続可能な使い方をすれば大気中の二酸化炭素を増やさないという特性があります。二酸化炭素の排出源である石油や石炭などのエネルギーや製品をバイオマスで代替していくことによって、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の発生を抑えることができます。

地球温暖化を防止するためにも、このバイオマスを積極的に利用していくことが求められています。

石油などの資源が少ない日本ですが、温暖で多雨な気象条件によって、自然の恵みを受けて成長するバイオマスは豊富に存在します。

## バイオマスの利活用 まず何をすればいいの？

がたくさんあります。家庭から出る生ゴミもバイオマスです。しかし、きちんと分別しなければ資源にはなりません。バイオマスの利用の第一歩は分別からです。身近なところから、利用するための取り組みを始めましょう。

私たちの周りにはバイオマス



▲約80人の住民が聴講しました

# 思い出を胸に秘めて

## ～金木高校市浦分校卒業式～

三月三日 金木高校市浦分校に於いて卒業証書授与式が行なわれ卒業生七人に卒業証書が授与されました。

岩城校長が、「生きがいを探めるとするなら余暇に逃げないで、働くこと、学ぶことです。社会に真正面に向かっていってください。夢に向かってあきらめないことです」と式辞を述べました。

高松村長が「人生に卒業はありません。本当の人生はこれからです。歩む道は常に二つの道

が待ち構えています。努力すれば報われる幸せの道、なまけて人生から落伍する不幸の道です。苦勞してもこの道を歩むのか、暗い道を歩むのか一人ひとりの心の中にあると思います。皆さんの前途に不可能はない。堂々の人生を歩んでください」と祝辞を述べました。

卒業生の平山ひとみさんが、三年間の思い出は、ボランティア活動です。除雪に行くこと喜び、人のために何かをすること相手に対する思いやり、やさ



▲「お世話になりました」「がんばって」と最後の握手

しさという言葉の思いを実感しました。楽しいことも、つらいことも、先生方、家族、市浦村の皆様方がどんな時も温かく見守ってくださったおかげで今日



▲市浦分校賛歌は涙の合唱となりました

の日を迎える事ができました。と答辞を述べました。三年間一緒に学んだ友、後輩、先生方との別れがづらい様子で、涙の退場となりました。

# 農業委員無投票で

## ～市浦村農業委員選挙～

任期満了に伴う農業委員選挙が2月18日告示され、定数10人に対し、10人の届け出があり、立候補者全員の無投票当選が決まりました。当選者は次のとおりです。

### 《届け出順・敬称略》

- 伊南 義道(磯松) 72・秋田谷和智(相内) 28
- 成田 勲(脇元) 61・三和 敏道(相内) 51
- 長利 藤雄(太田) 55・三和 隆(相内) 66
- 成田 義尚(相内) 72・佐藤 輝治(相内) 62
- 成田俊二郎(相内) 53・秋田谷 悟(相内) 53



長利 藤雄



成田 勲



伊南 義道



秋田谷和智



成田俊二郎



成田 義尚



佐藤 輝治



三和 隆



三和 敏道



秋田谷 悟



# 市浦村消防団 役員の紹介

消防団長に  
中島 英雄 氏(十三)

このたび市浦村消防団役員改選が行われ、消防団長に中島英雄氏(新・十三)が選任されました。

また、副団長には、山田正伸氏(再・脇元)並びに三和弘二氏(新・相内)の二人が選任されました。

任期は、平成十九年十一月二十四日まで。

# 市浦村消防団辞令交付式



▶高松村長より中島新団長に辞令が交付される

# 苦難を乗り越え二十周年

## 津軽テクニカ

市浦村の誘致企業として昭和五十九年に創業した津軽テクニカが創業二十周年を迎え二月二日コミュニティセンターで記念式典が行なわれました。

平山孝造代表取締役社長が「昨年四月一日に就任しました。二十年の記念すべき時にいて幸せに思います。二十周年を迎えることができたのも、歴代の関係者の並々な努力、従業員の皆様の努力があったおかげです。多大なるご協力をいただき感謝しています。価格破壊、長引く不況で、悪戦苦闘を強いられ、かつてやったことのないリストラという苦悩に悩まされながら、今日の記念すべき日を迎えたということは感無量です」とあいさつしました。

高松村長が「当時企画課長だった頃にこの企業を誘致するのは大変だった。村が土地造成、工場建設し、企業が工場の経営をになうという公設民営方式で津軽テクニカは生まれた。社員も百三十八人まで増やしたが、経済情勢の不安定により、縮小、閉鎖まで余儀なくされたこともある。しかし社員が技術革新に

耐え、日々精進したことにより二十周年を迎えることができた。原点に立ちかえり、伝統を守りながら発展を続けて下さい」と祝辞をのべました。

表彰式では、高松村長から平山社長に感謝状が授与され、平山社長から高松村長に記念品としてデジタルハイビジョンプラズマテレビ一式が贈呈されました。村では三月完成予定の総合保健センターに配置する予定です。

つづいて、永年勤続者に表彰

状が贈られました。

◆永年勤続二十年表彰 十名

(順不同・敬称略)

- 松橋照彦(十三)
- 上野美幸(相内)
- 山田美穂子(磯松)
- 工藤鉄子(桂川)
- 唐川栄子(相内)
- 秋田谷昭枝(相内)
- 安田信子(十三)
- 中野明子(十三)
- 越野初子(小泊)
- 安保サツミ(相内)
- ◆永年勤続十五年表彰 四名
- 北島敦子(小泊)
- 林崎烈子(脇元)
- 中井睦子(十三)
- 山田恵美子(脇元)



▶感謝状を読み上げる高松村長



▶決意を新たに…(従業員の皆さん)

# よりよい合併をめざして

## ～百人委員会を設立～

2月9日、青森あすなるホール市浦において合併の枠組みや合併効果等を検討するため「市町村合併問題百人委員会」が設立されました。この会の会員は公募によるもので住民、職員を含む百人で構成されています。委員長には、伊南忠夫氏、副委員長には、成田武司氏が選任されました。

高松村長より「以前の百人委員会では90%が五所川原市との広域合併、議会が津軽北部四町村、住民アンケートでは14票の差で津軽北部四町村という結果であった。

五所川原市へは近いうちに交渉する。五所川原市の考えはまだわからない」という旨の報告がされました。

今後は状況がわかりしだい報告し、会員の意見を聞くため会議を開催するという事です。

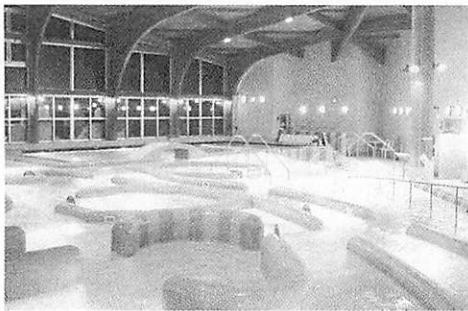




進化する海遊館

去る三月二日、九日の八日間海遊館は年に一度のメンテナンスの為に休業させて頂きました。毎日通っている海遊館ファンには苦痛の八日間だったことでしょう。しかし、苦しいことの後には必ずいい事があるもの。この八日間我慢できた(?)海遊館ファンが一番風呂ならぬ一番海水に入ろうとわれ先と押し寄せてきました。綺麗になったプールに新鮮な海水、皆さん口々に『やっぱり海(海遊館)はいいじゃ〜』とにっこり。これ一番風呂(プール)の醍醐味。

このメンテナンスの間も海遊館は毎日大賑わい。といってもお客様ではなくメンテナンスの業者さんで。海遊館スタッフもセラピスト着を作業着に替え作

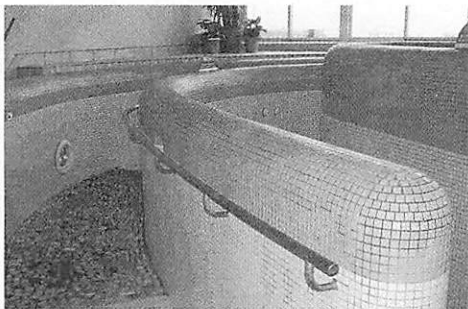


メンテ直後の元気海プール

業しておりました。年に一度のメンテナンスは皆様に常に心地よく利用して頂く為の準備期間です。海遊館も綺麗になると皆様の気持ちも新たになるのか利用頻度も多くなつたような気がします。

今回のメンテナンスで以前よりご要望のあったプール中の手すりが増設され、プールに慣れていない方、体力に自信がない方も安心して水中ウォーキングできるようにしました。そして皆様の憩いの場のサウナも新たに新調し、更に気持ちのいい汗がかける事でしょう!!

只今、メンテナンスとは別で併設のレストランを建築中で三月末には完成し、ゴールデンウィーク前にはオープン予定です。更にゆっくりくつろげる施設となり皆様の利用の幅も広がることとが期待されます。この様に海遊館は日々進化しております。今年度の海遊館から目が離せない!



手すりが付きました!

第八回健康測定が三月八日、九日にコミセンにて行われました。これは年間二回行っているもので市浦村民の高校生以上であればどなたでもお受けいただけます。主な測定項目は、おなじみの握力測定から柔軟性を見る体前屈、心肺機能を見る肺活量、変わった物では豆運びといった滑りやすい小さな豆をお箸で三十秒間に何個運べるかという指先の器用さを見る測定もあります。これらを集計し、体力年齢、身体機能年齢を算出します。

そもそもこういった健康測定、

第8回健康測定

INFORMATION

好評! ラッキーマンデー!!

2月より海遊館の日、アルゴの日、バンジェの日を一新。毎週月曜日がおトクなラッキーマンデーとして生まれ変わりました。もちろん! 会員、タラソファン以外の方でも対象となります。

4月のラッキーマンデー

- 5日: 運動プログラム無料開放 更にお子様の入館料半額
- 12日: バンジェ半額 通常¥1,500円 ⇒ ¥ 750円
- 19日: アルゴパック半額 通常¥3,000円 ⇒ ¥1,500円
- 26日: バンダルゴ半額 通常¥2,000円 ⇒ ¥1,000円

海遊館メール相談室



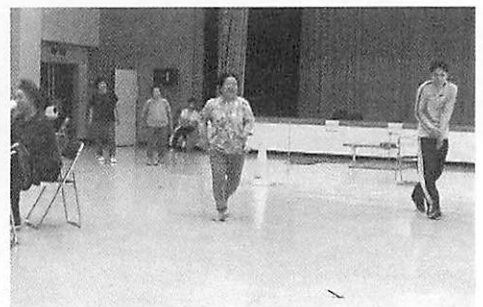
タラソセラピーに関する事、運動に関する疑問、人前ではちょっと聞きにくい事など何でも結構です。メールで下記までお気軽にお問合せ下さい(´▽`)/o

E-mail : seauland@hyper.ocn.ne.jp



体力測定などは何の為にやるのか? 現在運動を行っている人、これから始めようとしている人が運動の効果を見たり、体力要素の弱い部分を確認する事でバランスの良い体力づくりに役立ちます。

今回は九月初を予定しております。笑あり、涙あり?の楽しい測定ですのでみんな参加して健康生活の指針にしてみませんか?



10M歩行 わっせ! わっせ!



教育委員会だより No.27

# 子どもは「地域の宝」 地域ぐるみで豊かな心を育てよう

## 私がやる。私もやるんだ。

### 150人が参加して生涯学習推進大会

二月二十九日(日)、「村民憲章の具現化を目指した生涯学習のまちづくりを推進しよう」と第七回市浦村生涯学習推進大会が村民約百五十人が参加して開かれました。

開会セレモニーでは、参加者全員で村民憲章を唱和した後、

平成十五年市浦村スポーツ賞の授与が行われ、棟方由美さん(十三)と奈良良光さん(太田)に市浦分校陸上競技部(女子)にはスポーツ賞、下山達彦さん(市浦分校教諭)にスポーツ奨励賞が贈られ、賞状と記念品を手に入れました。このあと、丁子谷悟教育委員長が主催者を代表してあいさつし、高松村長がお祝いの言葉を述べました。



スポーツ賞受賞者。前列左から平山さん(丁子谷教育委員長) 古川さん、湊由加理さん。後列左から下山さん、奈良さん、棟方さん

(市浦中一年)が「ひと言の後悔」と題して弁論発表、小山内理佳子さん(市浦中二年)が「My Dream」と題して英語スピーチ発表を行いました。二人の中学生の発表は大変すばらしく、会場の参加者から大きな拍手が送られました。次に、山田允生(金木警察署刑事生活安全係長が「管内の青少年事件簿」と題して話題提供を行いました。身近な青少年を巻き込んだ犯罪などに関心も高く、ビデオなどを通して、あらためて今の子どもたちの様子を知るとともに、事件を未然に防ぐ決意をしました。

この後、実践発表ということ。で三人の方が発表を行いました。葛西達也さん(脇元小馬踊り保存会)は、子ども会と連携して太鼓や笛など、地域の郷土芸能伝承の取組を紹介。長尾信一市浦小バレーボールクラブ監督(十三)は、小学校が統合になって、地域の指導者が関わり、クラブを発足させるまでの取組や現在の活動、戦績などの発表を行いました。また、下山達彦さんは「市浦分校でのボランティア活動が、卒業後も自身の生活に意識として組み込まれ、心豊かな人物育成に役立っている」などとそれぞれ発表を行いました。



実践発表者  
葛西 達也さん



英語スピーチ発表者  
小山内理佳子さん



弁論発表者  
村元 祐輝さん



実践発表者  
下山 達彦さん



実践発表者  
長尾 信一さん

最後に、木下靖英西北教育事務所社会教育主事が「生涯学習のまちづくりには、誰かがやるのではなく、私がやるんだ。私もやるんだ。そういった意識が



参加者から意見発表

「平成十五年市浦村スポーツ賞」

#### ▼スポーツ賞

・棟方 由美(十三) 県民生涯スポーツフェスティバル壮年ボウリング五十歳代男子の部で優勝

・奈良 良光(太田) 県障害者スポーツ大会聴覚の部一〇〇mで優勝

・市浦分校陸上競技部(女子) 湊 裕美、湊由加理(以上相内)、古川絵理香(太田)、平山ひとみ

#### ▼スポーツ奨励賞

・下山 達彦(市浦分校教諭) 県高校定通制体育大会陸上競技において、学校対抗女子総会で優勝に導く

市浦村の埋蔵文化財②

# 江戸時代の十三湊

江戸時代の十三湊は、津軽一帯を支配した弘前藩（津軽氏）における領内四浦の一つとして青森・鯉ヶ沢・深浦とともに重要な湊町として栄えました。現在、私たちが暮らしている「市浦村」は、昭和三十年の市町村合併の際に、この由緒ある「四浦（しゅうら）」の名称を採用しているのは、皆さんもご存知のとおりです。

前近代まで十三湊と津軽平野内陸部との交通及び物資運搬の主要な手段は、岩木川水運を利用していました。江戸時代には岩木川の川筋に弘前藩の年貢を集めた御蔵が各所（藤崎・三世寺など）に設けられ、春先の雪解けで増水した岩木川を利用して、年貢米や中山山地で伐採された材木などが舟に積まれて十三湊へ集まってきました。こうして集められた物資は、鯉ヶ沢湊へ廻送され、上方（大阪）へ向けて北前船で運ばれていきました。こうして江戸時代の十三湊は川湊或いは鯉ヶ沢湊へ廻送する中継湊としての役割を担っ

ており、「十三小廻し」体制が確立していました。しかし、この頃すでに岩木川から流れてくる土砂の堆積によって、湊の水深が浅くなり、大船の入港が不可能となっていきました。そのため、十七世紀後半には極端な船舶の減少によって、序々に衰退の一途をたどっていきました。

## 奥州十三之図

歴史民俗資料館には慶安元年（二六四八）の年記のある「奥州十三之図」（市立函館図書館蔵）のレプリカを展示しています。同絵図は江戸時代前期の十三湊の様子を示した貴重な史料となっており、弘前藩が湊町支配のために作成させたものと考えられています。

同絵図に記載された集落の配置は、現在の十三地区の家並みとはほぼ重なっており、弘前（十三）街道に沿って集落が展開しています。集落の中には、藩の行政施設である「御用屋敷」・「御蔵」・「沖御番所」・「廻船御札」・「御高札」と記された

建物を見ることができま。また、砂洲の中央には東西方向に伸びる「古土居」が見えます。これは「古い土塁跡」といった意味ですが、発掘調査の結果、中世の安藤氏時代まで遡ることが判明しています。

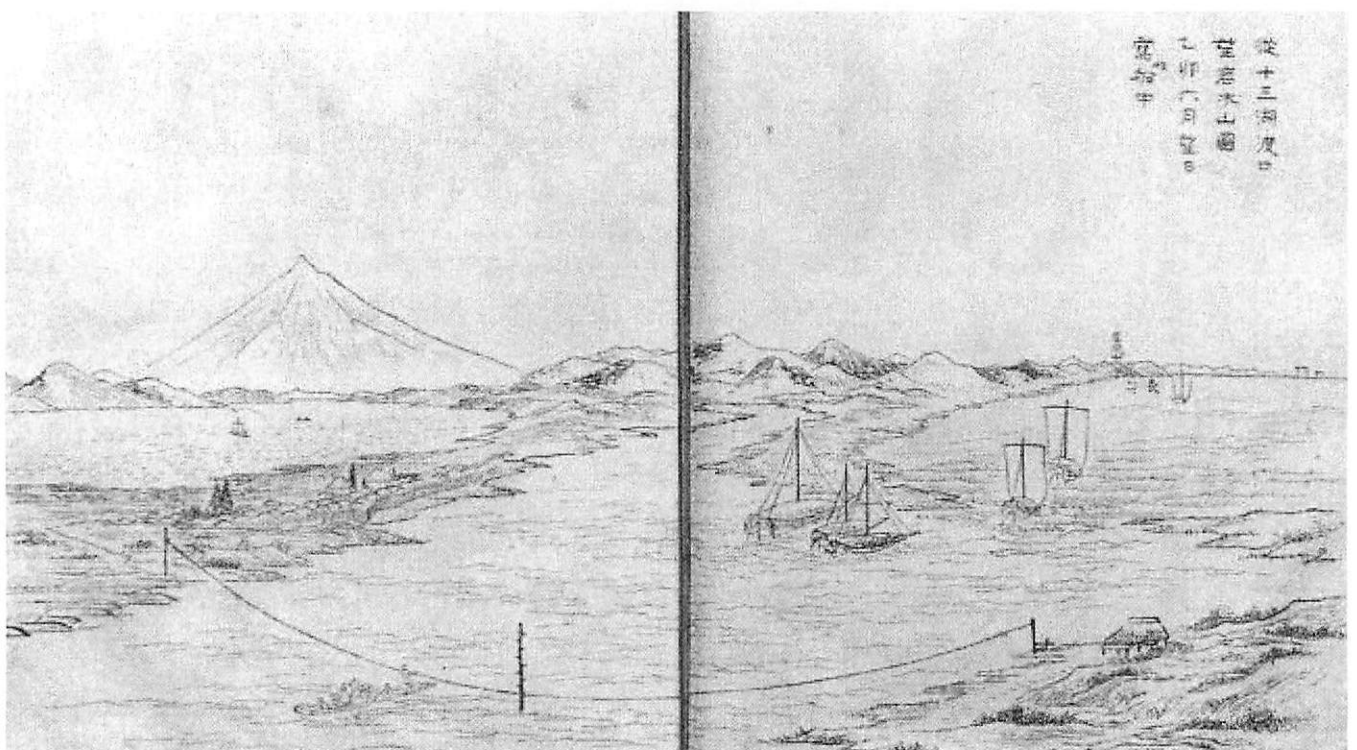
その他、社名では、今は存在しておりませんが、羽黒堂・伊勢堂が砂洲の北側にあったことが分かります。現在は羽黒崎という小字名が残っています。

また、「湊迎寺」・「願竜寺」も同絵図に記され、この頃すでに存在していることがわかります。また、現在の十三湖大橋が架かるあたりには、「船渡」と記されており、縄を張って渡し舟で行き来する様子が描かれています。

## 合浦山水観

今から百五十年前、幕末に近い安政二年（一八五五）に平尾魯仙によって描かれた「合浦山水観」には、十三湊の水戸口や渡し場の様子をはつきりと描かれています。このように近世の十三湊の様子を知ることができるとは、絵図や文献資料は、中世に比べて多く残されています。

（文責 市浦村教育委員会  
学芸員 榊原滋高）





# 国民年金 コーナー 便利で安心！口座振替がおすすめ

「国民年金保険料をうっかり納め忘れてしまう」という方や「忙しくて保険料を納めに行けない」という方には口座振替のご利用をおすすめしています。

口座振替をご利用になりますと、指定の口座から自動的に引き落とされますので納め忘れがなく安心です。

また、毎月、金融機関や郵便局などに足を運ぶ手間と時間が省け、とっても便利です。

手続きは簡単です。預貯金通帳、口座の届出印、年金手帳や納付書をお持ちになり、金融機関や郵便局などの窓口、「国民年金保険料口座振替納付申出書」を提出してください。また、申出書は金融機関や郵便局などの窓口にもあります。

## 関係ない人は、一人もいません！

未納・未加入者も「国民年金」に関係しています

現代は個々に親への「仕送り」をすることは大変困難です。以前は老後の収入の大きな部分を子供に頼っていました。しかし、現在老後の収入は63.6%以上が公的年金によって占められています。自分の親への「仕送り」を個人の代わりに社会全体で行っているのが「公的年金」なのです。親の老後(生活費)の心配をせずに暮らしていけるのは「公的年金」があるからといっても過言ではありません。このことを考えれば、未加入者や未納者も公的年金に間接的な恩恵を受けているとはいえないでしょうか？「高齢者の生活を社会全体で支える」という社会連帯の輪の中にあなたも参加してください。

### 将来物価が上がると、どうなるの？

公的年金制度では、定期的に年金額の改定を行っています。これは人口や経済など、年金を支えている社会経済状況の変化に対応し、年金制度を安定的に運営していくために行われます。また、平成元年より完全自動物価スライド制が導入され、経済変化や物価の変化に対応して、給付額を見直しています。すなわち、物価が上がれば、受け取る年金額も上がるという、画期的なシステムというわけです。

### こんな「保険」は、他にはありません

公的年金は「老後生活が従前の生活と大きく変わらないこと」を目的のひとつとしています。その時代時代で十分に生活できるよう金額が設定されているのです。例えば、1961年に国民年金がスタートした時は、月額保険料はナント100円でした。受給する年金額は、25年間の納付で「月額2,000円」、40年間の納付では「月額3,500円」でした。この金額のままでは、現在の生活を送ることは到底不可能です。このような状況を考えてみても、物価の上昇や社会の変化に対応している「世代間扶養」の国民年金に参加することは、将来の自分を助けることにもなっているのです。

★国民年金保険料の納付にコンビニエンスストアが利用できるようになります。  
国民年金保険料の納付は今まで、銀行、郵便局、信用金庫、信用組合、農業協同組合、漁業協同組合、労働金庫等でしたが、新たにコンビニエンスストアが利用できるようになります。

### ワンポイント情報

#### ～年金手帳を大切に～

年金手帳は、いろいろな届け出をするときに必要なばかりでなく、年金の請求手続きをするときにも必要なものですから、大切にしなければなりません。また、国民年金と厚生年金保険共通の手帳となっていて、1冊の手帳で2つの年金制度の加入や脱退の記録がわかるようになっていきますので、加入期間の空白ができるのを防止し、年金を受ける権利をより確実にするものです。

四月初めに一斉に送付される平成十六年度分の納付書からコンビニエンスストアで納付できますので、仕事等で金融機関になかなか行けない方や、夜間・休日しか時間がない方などは、ぜひご利用ください。なお、二月二日以降に作成される納付書でバーコードが印字されたものはコンビニエンスストアで利用できるものもあります。  
※詳しくは最寄りの社会保険事務所へお問合せ下さい。

# 消防・ネットワーク

火事と救急・救助は一一九番

## 春の火災予防運動

「その油断 火から炎へ 災いへ」

の全国統一標語のもとに四月十二日から十八日までの間、春の火災予防運動が行われます。

火災のない明るい村を目指し、死傷事故や財産の損失を未然に防ぎましょう。

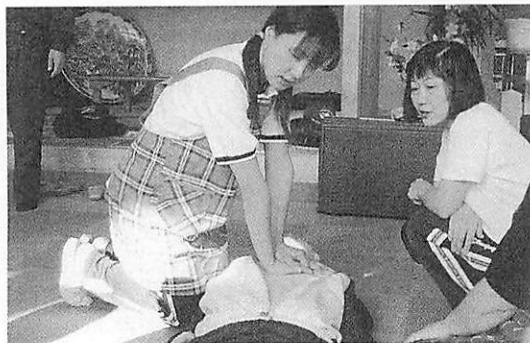
期間中は消防署、消防団で車両によるパレードを行いますので火災と間違わないで下さい。

### 火の用心七つのポイント

- 一、家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 二、寝たばこやたばこの投げ捨てはしない。
- 三、天ぷらを揚げるときは、その場をはなれない。
- 四、風の強いときは、たき火をしない。
- 五、子供には、マッチやライターで遊ばせない。
- 六、電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- 七、ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

## 普通救命講習行われる

二月二十九日、特別養護老人ホーム「すわんの里」において、老人介護福祉施設に於ける初期救命措置を修得する事を目的に普通救命講習が行われました。人形を使い人工呼吸と心臓マッサージの練習をテキパキと意欲的に行っていました。受講した八名には普通救命講習終了証が渡されました。



※市浦消防署では、避難訓練や応急手当講習会を受けていただきます。いつでもお気軽にご相談下さい。

## 鳥を飼育されて いる皆様へ

鳥インフルエンザ予防のため次のことに注意しましょう。

- ① 鳥小屋には野鳥が入らないように網で囲いましょう。
- ② 野鳥のエサとなるものを周辺に放置しないで下さい。
- ③ 噴霧器、ジョウロなどで鳥小屋屋外、特に入口を重点的に消毒薬を散布しましょう。
- ④ 入口に消毒薬を入れた容器など(踏込み槽)を置き、出入りに際し履物ごと踏込みと外部からウイルスを持ち込まないの効果が果てです。
- ⑤ 誤って消毒薬を飲まないように保管には充分注意しましょう。
- ⑥ 作業後は手洗い、うがいをしましょう。
- ⑦ 鳥を野山に放したりせず、責任を持って飼いましょう。
- ⑧ 鳥が食欲をなくしたり、呼吸の仕方が異常になったり、急死が見られたら、直ちに役場又は木造家畜保健衛生所に連絡して下さい。

### ◆鳥インフルエンザの相談窓口

- 午前八時十五分から午後七時十五分
- 鶏の病気や衛生管理に関する相談
- 人の健康に関する相談・ペット動物(愛玩鳥等)に関する相談

※鳥を飼っている方は、役場産業

建設課(内線二六)にお知らせ下さい。

- 木造家畜保健衛生所
- ☎ 〇一七二一四二一三七六
- 五所川原保健所
- ☎ 〇一七三三三三二〇八
- 北方農林水産事務所林業振興課
- ☎ 〇一七三三三三二〇八
- 西地方農林水産事務所林業振興課
- ☎ 〇一七三三三三二〇八

## 消費税が変わります

◆平成十六年四月一日以後開始する課税期間から

- 事業者免税点の上限が、一、〇〇〇万円(現行三、〇〇〇万円)に引き下げられます。
- 簡易課税制度の適用上限が、五、〇〇〇万円(現行二億円)に引き下げられます。

この改正は、個人事業者は平成十七年分から、事業年度が一年である法人については平成十七年三月末決算文から適用されます。

課税事業者の判定及び簡易課税制度の適用が受けられるかどうかは、個人事業者の平成十七年分は前々年である平成十五年分、事業年度が一年である法人の平成十七年三月末決算分は前々年事業年度である平成十五年三月末決算分の課税売上高により判定することになります。

新たに課税事業者となる場合は「消費税課税事業者届出書」を速やかに納税地の所轄税務署長に提出

する必要があるります。

◆平成十六年四月一日から

- 総額表示が義務付けられます。
- 課税事業者取引の相手方である消費者に対して商品等の販売、役務の提供等の取引を行うに際し、あらかじめその取引価格を表示する場合には、消費税額(地方消費税を含む)を含めた価格を表示することが義務付けられます。
- 詳しくは最寄りの税務署や税務相談室にお尋ね下さい。

## 診療日変更のお知らせ 公立金木病院

【変更となる診療科】

### ●眼科

- ・ 従来の診療日  
月・金曜日
- ・ 変更後の診療日  
火・金曜日
- ・ 変更となる期日  
平成十六年三月二十九日から

### ●小児科

- ・ 従来の診療日  
月・金 第二、四以外の土曜日
- ・ 変更後の診療日  
月・木・金曜日
- ・ 第一・第三土曜日
- ・ 受付時間  
午前九時～午前十一時三十分
- ・ 変更となる期日  
平成十六年四月一日から

### ▼お問い合わせ

公立金木病院  
☎ 〇一七三三三三二〇八  
FAX 〇一七三三三三二〇七

## 古い電話帳回収にご協力ください。リサイクルします!

NTT東日本青森支店では、四月中に順次、新しい電話帳(平成十六年五月発行)を、各ご家庭、事業所へお届け致します。その際、現在お使いの電話帳は、新しい電話帳とお取替え致しますので、配達員へお渡し下さい。

NTTでは、地球環境保護として、純正パルプの消費削減に取り組み、回収した古い電話帳から新しい電話帳をつくる、電話帳循環型リサイクルを行っています。

なお、配達員に渡せなかった方は後日改めて回収に伺いますので、下記「タウンページセンター」までご連絡下さい。

▼お問い合わせ  
タウンページセンター  
☎ 〇一七三三三三二〇八

## たからっ子

長利 凌太くん  
雪江さん(お母さん)



おになんかさわくないよーだ!!

## おめでとう

◆第七十九回日本珠算連盟段位認定試験合格者

○ 準二段 渡辺亜梨沙

◆第六十九回日本商工会議所珠算能力検定試験合格者

- 四級 本荘 啓・藤田 剛
- 七級 工藤 実紗・大澤 歩

○ 小笠原詩帆

○ 八級 松橋 僚汰

○ 十級 工藤 矩子・木津谷 楓

○ 一級 秋田谷美佑

○ 二級 工藤 康敬

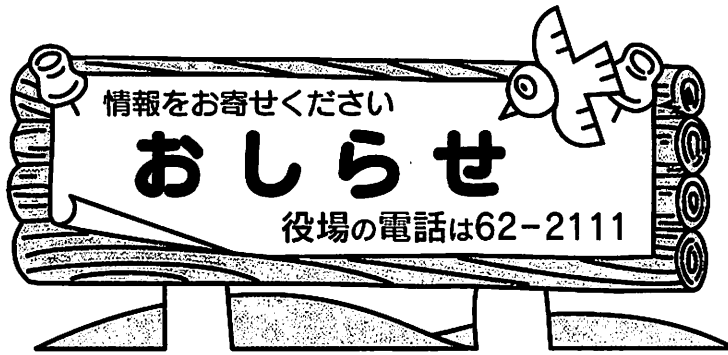


渡辺亜梨沙さん



秋田谷美佑さん

◆第百三十二回全国商工会珠算検定試験合格者



市浦村の人口と世帯数 平成16.3.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
相内	1,164	1,164	405
桂川	58	57	21
太田	239	238	82
脇元	496	495	198
磯松	277	277	106
十三	777	776	266
計	3,011	3,007	1,078

料金改正のお知らせ

●高齢者生きがい活動支援通所事業一部負担金  
 ・現行 〃六〇〇円  
 ・改定 〃八〇〇円

●期日 平成十六年四月一日  
 ◎寝具洗濯乾燥消毒サービス事業  
 ・現行 〃寝具乾燥消毒サービス事業に關する費用の一割  
 ・改定 〃一回八百円

●期日 平成十六年四月一日  
 ◆配食サービス事業  
 ・現行 〃二五〇円  
 ・改定 〃三〇〇円

●期日 平成十六年四月一日  
 ▼お問い合わせ  
 市浦村役場 住民福祉課  
 生活福祉係 ☎六二二二二二一  
 (内七二)

★定休日のお知らせ

エイジレス・ライフ実践者 社会参加活動事例の募集について

～いきいき高齢者募集中～

内閣府ではエイジレス・ライフ（年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由で生き生きとした生活を送る）を実践している高齢者、社会参加活動を積極的に行っている高齢者のグループを広く紹介し、既に高齢期を迎え、又はこれから迎えようとする世代の高齢期における生活の参考としてもらうために、活動事例の募集を行っています。

◆募集する活動事例

①エイジレス・ライフ実践者  
 下記のいずれかを実践している概ね65歳以上の方

- 過去に培った知識や経験を活かし、高齢期の生活で社会に還元し活躍している
- 中高年から一念発起して、物事を成しとげた
- 壮年期において達成した地位や対面などにとらわれることなく、高齢期を新しい価値観で生き生きと生活している
- 自らの努力、習練等により、優れた体力・気力等を維持し活躍している
- 地域社会のなかで、地域住民のリーダーやコーディネーター的な役割を發揮し、生き生きと生活している

②社会参加活動

積極的な活動を通じ、社会とのかかわりを持ち、生き生きと充実した生活を送っている概ね65歳以上の方が中心となって構成しているグループ等(10人以上)  
 【活動分野】 趣味、教育・文化、福祉・保健、健康・スポーツ、生活環境改善、地域行事・自治会、生産・就業（起業を含む）、安全管理・その他

◆推薦方法 役場住民福祉課に4月5日(月)までに推薦する。

◆紹介事例の決定等 推薦のあった事例について、選考委員会に意見を聴取し、内閣官房長官が決定します。決定した事例については、冊状と記念の楯を授与します。

◆紹介方法 決定した事例については、国民に広報を行います。また、「心豊かな長寿社会を考える国民の集い」において事例の紹介を行います。

▶お問い合わせ先 役場住民福祉課生活福祉係 ☎62-2111(内線71)

（中の島公園）四月より、毎週火曜日が定休日となります。（祝日、七月、八月を除く）  
 ▼お問い合わせ  
 中の島公園 ☎六二二二二二一

税務職員募集 (大学卒業程度)

仙台国税局では、地元の大学に通っている方、首都圏からUターンして公務員を目指す方など、東北の風土に慣れ親しんだバイタリティ溢れる職員を募集しています。今回募集を行うのは、試験内容が大学卒業程度の「国税専門官」です。  
 ◆受験資格  
 ◎昭和五十二年四月二日から昭和五十八年四月一日生れの者  
 ◎昭和五十八年四月二日以降生れの者で次に掲げるもの  
 ①大学を卒業した者及び平成十七

年三月までに大学を卒業する見込みの者  
 ②人事院が①に掲げる者と同等の資格があると認める者  
 ◆受験申込受付期間  
 平成十六年四月一日(木)～平成十六年四月十六日(金)  
 ◆受験申込書の請求  
 最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課又は人事院東北事務局  
 ▼お問い合わせ  
 仙台国税局人事第二課  
 ☎〇二二二六三三一一一  
 (内線三三三三六)

忘れていませんか? 愛車の住所変更

自動車税の納税通知書は、四月一日現在の自動車登録の住所地にお届けします。引越しなどで住所が変わった場合は、運輸支局に「変更登録」をする必要があります。この「変更登録」を三月中にしない場合は、各市町村の住民課窓口にある住所変更届(ハガキ)を郵送又はFAXしていただくか、最寄りの県税事務所にお電話をいただければ、納税通知書を新住所にお届けします。なお、新住所のお知らせは県税ホームページでも受付しております。  
 ●ホームページアドレス  
<http://www.pref.somori.jp/zeimu/>  
 ▼お問い合わせ  
 五所川原県税事務所 納税課  
 ☎〇一七三三四二二二二  
 (内線二二〇二二二)  
 ※納税通知書は新住所で受け取りましょう!

県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

発生	2月中		年累計		死者の状況	飲酒運転による死者	高齢者の死者 ～65歳以上の人～	自動車乗車中の死者	非着用死者	着用していれば助かったと思われる人
	件数	死亡	件数	死亡						
発生	697件 (-1)	5人 (-4)	1,470件 (-58)	12人 (-2)	1人 (+1)	6人 (-1)	5人 (-2)	4人 (±0)	4人 (+2)	
死者	5人 (-4)	861人 (-17)	12人 (-2)	1,863人 (-63)						

\* ( )内は前年。累計は1月から。速報値のため後日変更することがあります。

# 健康への道

No.167

## 鳥インフルエンザについて

**Q** 高病原性鳥インフルエンザとは、どのような病気か？

鳥のインフルエンザは、人のインフルエンザウイルスとは異なったウイルスで、鶏や七面鳥等が感染すると、神経症状（首曲がり、元気消失等）や消化器症状（下痢、食欲減退等）が現れ大量に死亡することも稀ではありません。

**Q** 人には感染するのか？

アジア地域において多く発生しており、その感染の経路は「感染した鳥に近距離で接触していた人」がほとんどです。人から人への感染も完全に否定はできませんが、稀にあるだけと報告されています。そして、今の所鶏肉や鶏卵からの感染の報告もありません。

**Q** もし、感染したらどんな症状があるのか？

初期の症状としては、発熱、のどの痛み・咳等の症状や結膜炎等の症状があります。

**Q** 予防と対策は？

現在、鳥インフルエンザに対する有効なワクチンはなく、開発が行われています。

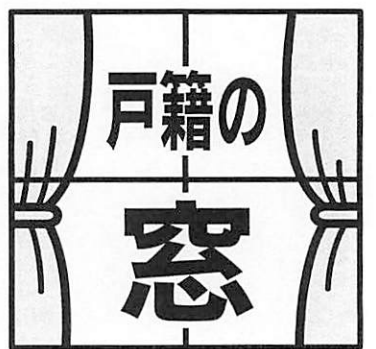
万が一の感染を予防するには「無警戒に流行地の生きた鳥類のいる施設への立ち寄りや接触をしないこと」、「不用意に鳥等の排泄物に触れないこと」また「ペットや動物に触った後などは、手を洗うこと、うがいをする」こと、心をかけたたり、飼っている鳥や動物のまわり（糞尿等）を清潔にし、健康状態を見て異常があった場合に、速やかに届出することも大切です。

心配であれば、一般的な方法として食品をよく加熱すること（食品の中心温度を70℃）も推奨されています。



三上 藤生 (十三) 58歳

吉田 良雄 (相内) 81歳



▼お誕生

煤田 朝陽 (相内) 暁  
三和 柚羽菜 (相内) 豊明  
秋田谷 彩希 (相内) 公也  
三和 佳鈴 (相内) 繁之  
成田 美玖 (脇元) 和友  
安田 夢菜 (太田) 裕典  
相川 七海 (十三) 和哉  
三和 大地 (相内) 貴道  
野崎 美聖 (十三) 聖光

▼ご結婚

八木澤 康 (十三)  
浜田 るり子 (十三)  
新岡 誠 (磯松)  
田口 文 (山形)  
石村 貴夫 (青森)  
山内 珠美 (相内)  
竹谷 知也 (脇元)  
新岡 美夏 (五所川原)

▼おくやみ

三上 藤生 (十三) 58歳

**あとがき**

今年度、最後の感動はやはり卒業式でしょう。市浦分校と、市浦中学校の取材をしました。どちらも証書を受け取る姿はとても凛々しくりっぱでした。

三年間晴れの日ばかりではなかったはずですが、親、教師に反抗したこともあったでしょう。

「今日の日を迎える事ができたのは先生方、両親の力添えがあったからです」と感謝の言葉を素直に述べている姿に保護者の方々、先生方も涙していました。

三年間一緒に学んだ友、先生との別れはつらいことでしょう。しかし別れがあれば出会いもある。四月、新しい出会いはまだ一歩みなさんを成長させてくれることでしょう。

いまの厳しい社会情勢に船出していく卒業生のみなさんに幸多かれと祈らずにはいられません。あなたの方の門出をこんなに多くの方々が見守っている。そして今後も見守り続けることを忘れないで欲しい。

宮本 由雄 (相内) 80歳  
松橋 智恵子 (十三) 51歳  
中村 ちせ (脇元) 90歳  
亀田 サヨ (十三) 88歳  
中山 いよ (脇元) 90歳  
成田 清 (脇元) 88歳